

2023.6.28 Spring

新潟の土地改良



みどり
水土里ネット

未来の「水」「土」「里」を
創造する

新潟県土地改良

事業団体連合会

Vol.619

令和5年度 第1号

Contents

新年度のご挨拶	1	令和4年度 換地計画作成及び換地処分実務研修会	6
第65回 通常総会	2	令和5年度 新職員のご紹介	7
第63回 土地改良功労者表彰式	3	新潟県土地改良事業団体連合会 事務機構図	9
令和4年度 全国水土里ネット表彰式	4	連合会日誌／表紙写真紹介	10
インボイス制度説明会・土地改良区決済金等支援に関する説明会	5		

新年度のご挨拶

会 長 帆 莉 謙 治



会員ならびに関係機関の皆様には、平素より本県農業農村整備の推進に対しご尽力いただき厚く御礼申し上げます。

この4月1日に当会の会長に就任しました帆莉と申します。今後とも、ご指導のほどよろしくお願いいたします。

本県では全域にわたり田植えを終え、少しずつ緑が映える景色が広がってきました。

さて、新型コロナウイルスは令和5年5月8日から第5類に位置付けられ、会議などの行事もようやく以前の姿に戻りつつあります。しかし、ウイズコロナの生活を余儀なくされ、どの分野もこの間の影響をすぐに戻すことは困難であり、新型コロナウイルスの影響の大きさを改めて実感しています。

農業農村整備事業関係の令和5年度当初予算は4,457億円、令和4年度補正予算1,677億円を含み、総額6,134億円を確保できました。これも会員の皆様の農業農村整備事業の重要性を適切に中央に届ける要請活動から十分な理解を得られた結果であり、今後とも皆様と連携し効果的な要請活動を展開したいと思っております。

本県では、ほ場整備のニーズが増加しており、着実に事業を推進し、農地集積・集約化と担い手の確保を促進していくと同時に、より効果が発揮できる事業展開が重要であります。

加えて膨大な農業水利施設を抱えていることから国土強靱化のために土地改良施設の機能を適切に維持・保全していくことは重要課題であり、防災・減災に対する配慮が必要不可欠であります。

あらゆる物価の高騰が続いており、とりわけ用排水機場を多く抱える本県の土地改良区では、電気料金の値上げの影響は組織運営に重くのしかかっている状況にあり、適時適切な水管理をはじめ、省エネ化・再エネ利用をさらに進める必要があります。

当会としましては、これまでの業務のほか、設立して2年目となりました新潟県ため池サポートセンターなど、更なる会員支援を進めていきたいと思っております。そのほか土地改良区の複式簿記導入にあっては、まだまだ疑問や質問等も抱えていることと思っております。また、第5次男女共同参画基本計画における女性役員の登用10%以上の目標といった組織運営に対する支援もさらに取り組むべきと考えており、今後とも会員の多様なニーズと負託に応えるため、役職員とともに努力してまいります。

結びに、皆様のご多幸とご活躍を祈念いたしますとともに、豊穡の秋を迎えられますようお祈り申し上げます。

第65回 通常総会

去る3月22日、県土連ビル(新潟市)において、本会の第65回通常総会を開催しました。

開会に当たり三富会長より、「本県のほ場整備のニーズが急増する中、農業農村整備事業や農地集積を促進していくとともに土地改良施設の機能を適切に維持保全し、一層の農村振興の発展を進めていくことが重要である。今後も国や県などと連携を強化しながら会員のニーズに応えるべく、役職員とともに努力していくので、ご理解とご協力をお願いしたい」と挨拶がありました。

議事は、赤塚克則氏(加治郷土地改良区理事長)が議長に選任され進行し、上程された9議案について全会一致で承認可決されました。

なお、任期満了に伴う役員改選を行い、令和5年度からの新役員が選任され、その後の臨時理事会において新体制が決まりました。



< 三富会長の挨拶 >



< 議長 赤塚氏 >

新役員紹介

役 職	氏 名	所属団体
会 長	帆 苅 謙 治	学識経験者
副 会 長	川 上 東 陽	小千谷土地改良区 理事長
専務理事	坪 谷 満 久	学識経験者
理 事	松 田 昭 悦	阿賀野川土地改良区 理事長
理 事	濱 田 佐 登 之	西蒲原土地改良区 理事長
理 事	須 貝 八 栄	胎内川沿岸土地改良区 理事長
理 事	小 川 巖	荒川沿岸土地改良区 理事長
理 事	高 井 一 郎	新津郷土地改良区 理事長
理 事	渡 邊 敏 夫	国府川左岸土地改良区 理事長
理 事	関 隆 雄	五城土地改良区 理事長
理 事	弓 納 持 博	吉川土地改良区 理事長

役 職	氏 名	所属団体
理 事	河 村 則 夫	刈谷田川土地改良区 理事長
理 事	小 柳 一 朗	西蒲原土地改良区 副理事長
理 事	澁 谷 幸 男	新発田土地改良区 理事長
理 事	杉 本 克 己	亀田郷土地改良区 理事長
理 事	宮 田 康 男	三島郡北部土地改良区 理事長
理 事	櫻 井 雅 浩	柏崎市長
理 事	野 口 和 広	関川水系土地改良区 理事長
理 事	高 村 良 一	南魚沼土地改良区 理事長
総括監事	城 戸 陽 二	妙高市長
監 事	桑 原 紀 夫	津南郷土地改良区 理事長
監 事	丸 山 忠 夫	三面川沿岸土地改良区 理事長

第63回 土地改良功労者表彰式

去る3月22日、県土連ビル（新潟市）において、通常総会の併催行事として執り行っている第63回土地改良功労者表彰式を開催し、団体の部から1団体、役員の部から8名、職員の部から12名が受賞しました。

代表として、団体の部の田中茂夫理事長（川西土地改良区）、役員の部の澁谷幸男理事長（新発田土地改良区）、職員の部の数藤史生事務局長（川西土地改良区）が、三富会長より表彰状を手渡されました。

団体表彰

団体名
川西土地改良区

役員表彰

所属団体名	氏 名
荒川沿岸土地改良区	近 雅 博
荒川沿岸土地改良区	渡 邊 誠 市
新潟北土地改良区	曾 我 権 次
新発田土地改良区	澁 谷 幸 男
白根郷土地改良区	丸 山 久 夫
早出川土地改良区	須 藤 仁
越路原土地改良区	木 曾 健 太 郎
大和郷土地改良区	桑 原 幹 夫

職員表彰

所属団体名	氏 名
三面川沿岸土地改良区	島 田 幸 生
新潟北土地改良区	木 島 真 奈 美
新発田土地改良区	馬 場 功
新津郷土地改良区	新 井 田 孝 史
亀田郷土地改良区	稲 村 悟
早出川土地改良区	深 井 隆 之
西蒲原土地改良区	高 橋 純 也
西蒲原土地改良区	小 林 与 志 実
中之島土地改良区	高 橋 哲
川西土地改良区	数 藤 史 生
新潟県土地改良事業団体連合会	劔 持 宗 徳
新潟県土地改良事業団体連合会	劔 物 由 紀



< 団体の部 川西土地改良区(田中理事長) >



< 役員の部 澁谷理事長 >



< 職員の部 数藤事務局長 >



< 団体・役員・職員表彰を受賞者の皆様 >

令和4年度 全国水土里ネット表彰式

去る3月23日、シェーンバッハ・サボー（東京都）において、全国水土里ネット表彰式（第64回全国土地改良功労者等表彰、農業農村整備優良地区コンクール、21世紀土地改良区創造運動表彰）が開催されました。

この表彰式には、受賞者及び関係者約500名が参加し、来賓として進藤、宮崎全国水土里ネット会長、会議顧問、農林水産省から勝俣農林水産副大臣、青山農村振興局長ら幹部が出席され、盛大に挙行されました。

本県の受賞については、以下のとおりです。

第64回 全国土地改良功労者等表彰



＜野口理事長（関川水系土地改良区）＞



＜写真中央 大倉理事長（両津南部土地改良区）＞



＜右から 田中理事長 青木事務局長 長谷川参事＞

＜農林水産大臣表彰を受賞した関川水系土地改良区のご紹介＞

〈概要〉●新潟県西南部の上越市と妙高市に位置し、地区面積5,764ha、組合員数5,766名の団体。
国営農業水利事業等に取り組むほか、近年では、ほ場の大区画化にも積極的に取り組んでいる。

〈事業〉●国営事業による水利施設や県営事業による大区画ほ場の整備、農地の集積を積極的に行った結果、用水の安定供給が図られるとともに約2%の組合員（102の経営体）が地区面積の6割（3,156ha）の農地を耕作するという成果を挙げ、農業経営の多角化、複合化に資する基盤整備に貢献している。

- 笹ヶ峰発電所の売電収入を維持管理費軽減、将来の施設更新費の積立に回す等、将来を見据えた組合員ファーストの方針のもとに積極的な事業展開をしている。



＜4.2haを誇る大区画ほ場（上越市高野地区）。畔の草刈りと水管理労力が減り、経費節減につながった。＞



＜笹ヶ峰ダムの湖面からの有効落差（33.5m）を再生可能エネルギーに変換する笹ヶ峰発電所。発電能力は、年間約4,000MWhで、一般家庭のおよそ900戸分に相当する。＞

インボイス制度説明会・土地改良区決済金等支援に関する説明会

去る2月16日、県土連ビル(新潟市)において、県内土地改良区の担当職員を対象としたインボイス制度説明会と土地改良区決済金等支援に関する説明会を同日開催しました。

この説明会には、それぞれの制度への理解を深めることを目的に会場とオンライン合わせて約80名が参加しました。

インボイス制度説明会では、関東信越国税局の職員を講師に招き、インボイス制度の概要や電子帳簿保存法におけるデータの保存要件等について説明していただきました。

土地改良区決済金等支援に関する説明会では、北陸農政局の職員を講師に招き、土地改良区決済金等支援の対象となる土地や助成額等について説明していただきました。

説明後の質疑応答では、畑地化協力金徴収規程や地区除外決済金処理規程に関する質問が複数寄せられるなど、制度への理解促進に資する充実した説明会になりました。

説明会概要

インボイス制度説明会	
研修内容	講師
開会挨拶	新潟県土地改良事業団体連合会 事務局長 小林 由紀雄
インボイス制度及び電子帳簿保存法	関東信越国税局 課税第二部消費税課 軽減税率・インボイス制度 係長 丸橋 祐一
(研修内容)・インボイス及び電子帳簿等保存方式制度の概要 ・インボイス制度における会計ソフトへの補助金等支援制度について ・電子帳簿保存法におけるスキャナ保存等の電子取引データの保存方法や解像度等の保存要件について	
質疑応答	

土地改良区決済金等支援に関する説明会	
研修内容	講師
畑地化促進事業について 土地改良区決済金等支援について	北陸農政局土地改良管理課 課長 石田 昭弘 課長補佐 高森 正史
(研修内容)・畑作等の産地づくりに取組む地域を対象とした土地改良区の地区除外決済金等の支援等、畑地化促進事業の内容について ・土地改良区決済金等支援における「地区除外決済金」及び「畑地化協力金」に関する説明 ・組合員が畑地化を希望してから土地改良区へ決済金等支援金が支払われるまでの土地改良区地区除外決済金等の支援フローについて	
質疑応答	



＜ 関東信越国税局 丸橋係長 ＞



＜ 北陸農政局 石田課長 ＞



＜ 会場の様子 ＞

令和4年度 換地計画作成及び換地処分実務研修会

去る3月1日～2日の2日間、県土連ビル(新潟市)において、換地に関する事務を担当する土地改良区や本会職員等を対象とした令和4年度換地計画作成及び換地処分実務研修会を開催しました。

この研修会には、換地に関する事務の理解促進を目的として、約100名が会場及びオンラインにて参加しました。

本会の小林事務局長の開会挨拶の後、土地改良法の概要や換地設計・土地評価に関することなど、2日間で11の講義を設けて行いました。

研修会に参加した本会の換地部職員からは「換地の概要から実務まで幅広く学ぶことができた。今後の業務に生かしていきたい。」との意見があり、充実した研修会となりました。



< 会場の様子 >

研修会概要

3月1日		
内 容	説 明 者	
開会挨拶	新潟県土地改良事業団体連合会	事務局長 小林 由紀雄
土地改良法について	新潟県農地部 農地計画課土地改良団体係	主 事 高野 智耶
(講義内容)・土地改良法の構成や法改正の経緯について ・フロー図を用いた土地改良事業の流れや土地改良事業の計画変更など土地改良事業の実施に係る説明		
交換分合の概要	新潟県土地改良事業団体連合会 換地部	指導監 監 物 淳二
(講義内容)・交換分合のメリットや交換分合計画の定め方といった交換分合制度に関する説明 ・年々減少傾向にある交換分合面積など交換分合を巡る情勢		
換地をめぐる情勢について	全国土地改良事業団体連合会 中央換地センター	所 長 松尾 房雄
(講義内容)・民法等の改正に伴う新たな財産管理制度等の活用推進についての説明 ・農地中間管理機構関連農地整備事業に関する換地業務検討についての説明		
換地理論	北陸農政局農村振興部 土地改良管理課	農地集団化係 石井 哲平
(講義内容)・区域区分の原則といった換地の三原則や対応換地といった換地手法の仕組み ・基礎調査・地域営農調査から清算金の徴収・支払いまでの換地業務の流れと各工程の業務紹介		

3月2日		
内 容	説 明 者	
換地計画書作成実務	新潟県土地改良事業団体連合会 換地部換地第1課	主 事 平沢 拓海
(講義内容)・過去の換地士試験問題をを用いた換地設計書や各筆換地等明細書、換地清算金の算出や添付書類等、換地計画書作成に関する説明		
換地設計・土地評価について	新潟県土地改良事業団体連合会 換地部換地第2課	課 長 小川 正浩
(講義内容)・換地処分を行うための基本方針である換地設計基準の構成や基準作成のための基礎調査等の説明 ・土地評価に関する増減点方式や条件差差積方式等の算出方法等の説明		
代位登記について	新潟県土地改良事業団体連合会 換地部換地第2課	係 長 高本 真奈
(講義内容)・土地改良換地における代位登記の法的根拠である土地改良法第114条及び土地改良登記令第2条の規定の説明 ・事業施行区域以外の土地の登記や担保権等の抹消登記等の代位登記ができない登記の説明		
農地中間管理事業について	新潟県農林公社 農地中間管理事業課	主 任 石崎 和之
(講義内容)・農地中間管理事業の活用のメリットや県内での事例等について紹介した事業概要の説明 ・新潟県の農地中間管理事業の推進に関する考え方や担い手への農地集積率の目標等を示した基本指針の説明		
表示に関する登記について	新潟県方法務局 不動産登記部門	登記官 栗山 奨
(講義内容)・対抗力、推定力、形式的確定力といった不動産登記制度についての説明 ・不動産登記の構成する表示に関する登記、権利に関する登記についての説明		
換地計画書審査のポイント	新潟県農地部 農地整備課農地集団化係	専門員 坂井 範彦
(講義内容)・換地設計書、各筆換地等明細書など換地計画書の構成についての説明 ・換地計画書の様式を用いた審査ポイントの説明		
換地関係異議紛争の現状と課題について	新潟県農地部 農地整備課農地集団化係	係 長 川端 周
(講義内容)・県営事業の換地業務に関する異議等手続や県が定める異議等手続に関する規程等の制度の概要 ・過去の県営土地改良事業における異議紛争事案の発生件数や原因、未然防止や対応方法等の説明		

令和5年度 新職員のご紹介

今年度、本会では新たに8名の職員が加わりましたので紹介します。

日々弛まぬ
努力を重ね、
仕事に
向き合います。



総務部 総務課

山岸 諒大
RYOTA YAMAGISHI

本年度から総務部総務課に配属となりました、山岸諒大と申します。

卒業した関西大学では地理学を学び、様々な地域の特徴や課題について知識や理解を深めました。

現時点では土地改良事業関連の知識は乏しいですが、日々の業務の中で学び理解を深めることで皆様のお役に立ちたいと考えています。

ご迷惑をお掛けすることもあるかと存じますが、ご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願いいたします。



諦めず成長。

技術部 施設管理課

山本 宗汰
SOTA YAMAMOTO

本年度から技術部施設管理課に配属されました、山本と申します。三月に県立新潟工業高校電気科を卒業しました。

一日でも早く知識を習得できるよう諦めず、一生懸命仕事に取り込んでいきます。社会人として成長できるよう努力していきますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

自分に出来ることを
着実にこなす。



技術部 調査課

鶴巻 晶悟
SYOGO TSURUMAKI

本年度より調査課に配属されました、鶴巻昌悟と申します。前歴として農協と市役所に勤務しており、新入職員としてみなさまと一緒に働くことをとても嬉しく思います。

これまでの経験や知識を生かし、業務に取り組んでまいります。また、新しい環境での学びにも意欲的に取り組み、成長していけるよう努力してきたいと考えております。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



安全第一で
がんばります！

技術部 情報課

砂塚 大気
TAIKI SUNAZUKA

本年度から情報課に配属されました、砂塚大気です。3月に新潟大学大学院の農学修士課程を修了しました。大学ではドローンを使った測量や地下かんがいの課題を研究していました。

出身は新潟県柏崎市の中山間地域です。私生活ではあまり遠出することがないので、調査などで様々な現場に行くのが楽しみです。仕事中は気を引き締め、ノウハウを吸収して、早くお役に立てるようになります。何卒よろしくお願い致します。

FRESHERS



新たな挑戦を
恐れず、
何事も真剣に
取り組みます。

技術部 設計第2課

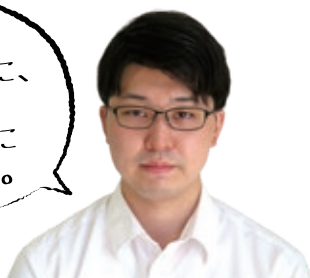
大倉 葵
AOI OKURA

本年度から技術部設計2課に配属となりました、大倉葵と申します。3月に新潟大学農学部を卒業しました。

自分が長年学んできた農業を介して、故郷である新潟に貢献できることを心から嬉しく思っております。日々の業務でも、新たな挑戦を恐れず、真剣に取り組んでいきたいです。

まだまだ至らぬ点もあるかと思いますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

切磋琢磨と
和衷共同を胸に、
新潟県の
農業の発展に
貢献します。



換地部 換地第1課

加藤 尚登
NAOTO KATO

本年度から換地第一課に配属されました、加藤 尚登と申します。

過去に神奈川大学法学部を卒業し、社会人経験者として入会致しました。まだまだ法律や県内農業の知識も不足しており至らない点も多いですが、一日でも早く実務知識を習得し県の農業の発展に貢献し、県民の方々のお役に立ちたい所存です。

趣味で車好きな一面もありますので、業務外でも親睦を深めさせていただけたら幸いです。今後も何卒、宜しくお願い致します。



一人前に
なれるよう
頑張ります。

換地部 換地第1課

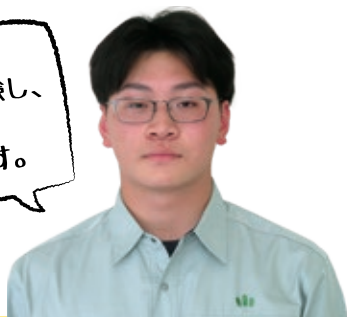
室住 陸人
RIKUTO MUROZUMI

本年度から換地部換地第1課に配属となりました、室住陸人と申します。

3月に新潟大学大学院を修了しました。

土地改良事業に関する知識はほとんどありませんが、土地改良換地士の取得を目標としてこれから勉強していこうと思います。皆さんに頼らせていただくこともあると思いますが、ご指導の程よろしくお願いいたします。

何事も
積極的に経験し、
仕事に
活用します。



換地部 測量課

木伏 孝道
TAKAMICHI KIBUSHI

本年度より換地部測量課に配属されました、木伏孝道と申します。

今年の3月に県立新潟工業高等学校土木科を卒業いたしました。

高校の三年間で学んだ測量の知識、技能を活かして一日も早く皆様のお役に立てるよう努力します。

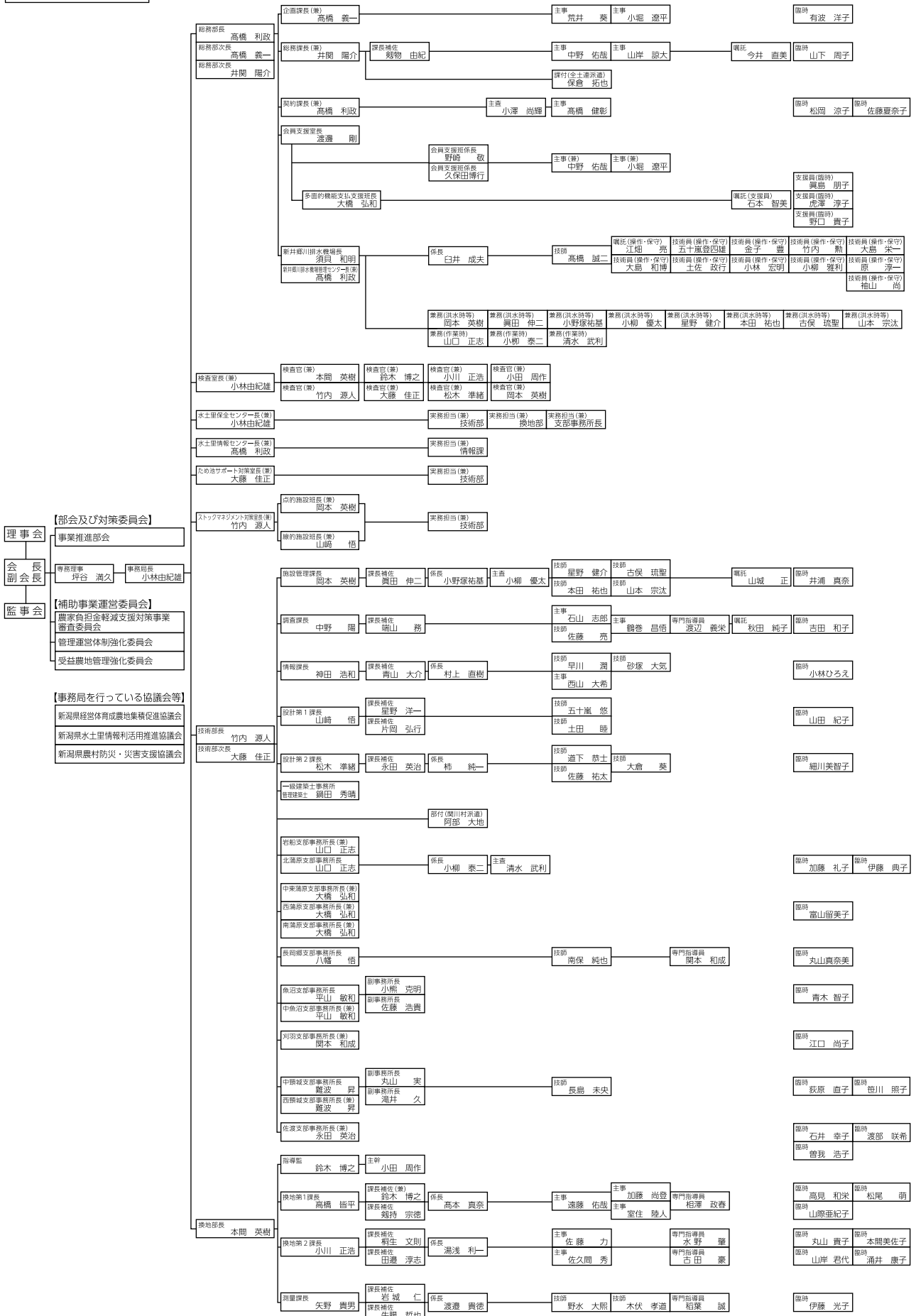
また、私はドライブを趣味としていますので、仕事以外の場面でも多くの方と交流させていただけますと幸いです。

未熟者ですが、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

新潟県土地改良事業団体連合会

事務機構図

令和5年5月1日付け



連合会日誌

4月 24日 (月)	(一社)地域環境資源センター 令和5年度 業務実施方針等説明会	東京都 (オンライン同時開催)
25日 (火)	(一社)地域環境資源センター 農業集落排水施設に係る新技術普及研究会 令和5年度総会	東京都 (オンライン同時開催)
	令和5年度北陸農政局管内農業農村整備担当課長等会議	石川県
5月 16日 (火)	新潟県ため池サポートセンター 第2回通常総会	オンライン
24日 (水)	令和5年度 北陸農政局むらづくり審査会	オンライン
	本会第1回 正副会長会議	新潟市
	本会第1回 理事会	新潟市
30日 (火)	(一社)地域環境資源センター 令和5年度定時総会	東京都
31日 (水)	都道府県土地改良事業団体連合会事務責任者会議	東京都
6月 8日 (木)	(一財)日本水土総合研究所 新潟セミナー	県土連ビル (オンライン同時開催)
15日 (木)	農業農村整備の集い	東京都
15日(木)~16日(金)	中央要請活動	東京都

表紙写真紹介



へさき
作品名「舳先のごとく」

撮影場所：龍ヶ窪を出たところの分水
撮影者：富所 上 氏

表紙の写真は、水が伝える豊かな農村空間～疏水・ため池のある風景～写真コンテスト2023の疏水部門で入選した作品です。

龍ヶ窪(新潟県津南町)は、1985年に「日本名水百選」に選定され、現在も地域住民の生活用水として大切に守られています。

作品名の舳先は、船の先端を意味しており、分水部分を船に見立て撮影した作品です。



未来の「水」「土」「里」を創造する

